

主要課題 2

人が行き交う <交流人口>

社会潮流

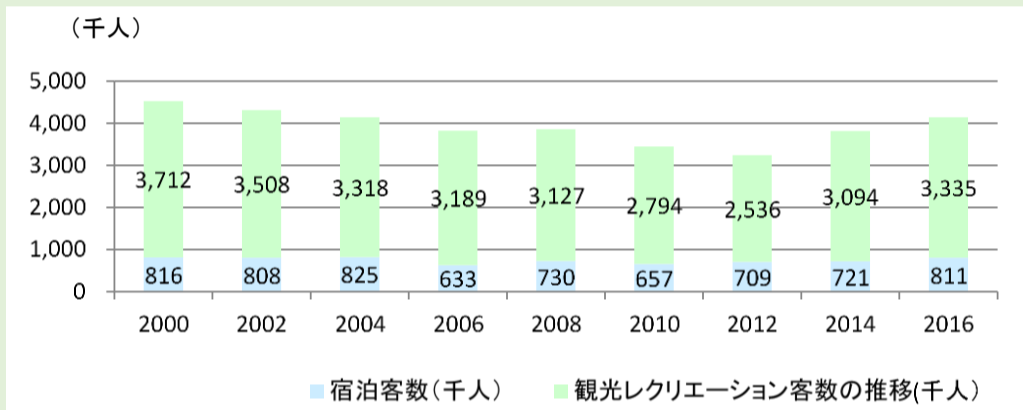
- ① グローバル化の進展
- ② インバウンドの増加
- ③ 地方創生で人の流れをつくる

市民意向（アンケート調査）

- ① 取り組むべき事項で「中心市街地の活性化」が17項目中1位
- ② 優先度（平成30年）で「中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり」が29項目中5位、満足度は最下位

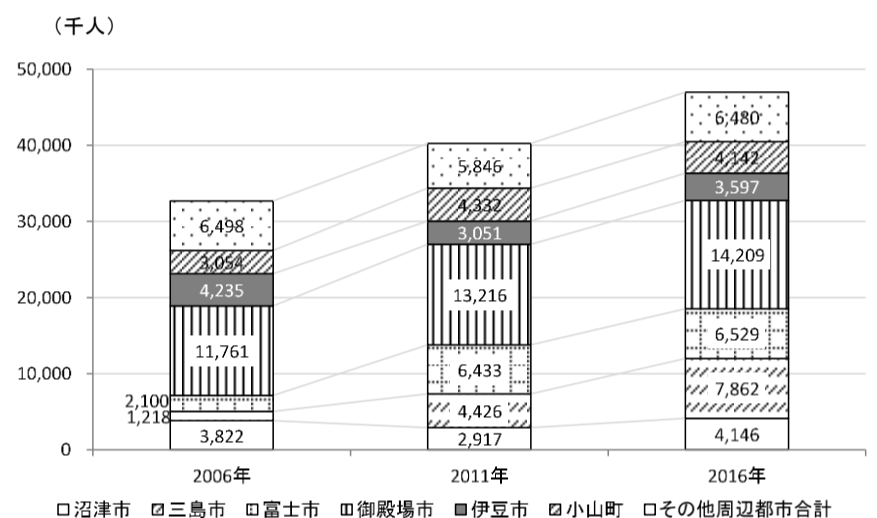
課題① 交流人口の増加による活性化

- 東日本大震災後、観光交流人口は回復傾向にある
- 静岡県東部地域全体で交流人口は増加傾向にある



(資料：静岡県観光交流の動向)

○ 周辺都市の観光交流客数の推移



(資料：静岡県観光交流の動向)

課題② 沼津港のにぎわいの波及

- 沼津港への来訪客が増加している
- 他の観光スポットへの賑わいの波及

課題③ インバウンドへの対応

- 欧米を除くとアジア近隣諸国（特に中国）からの来訪が多い
- 台湾・韓国・香港は増加傾向にある
- 増加傾向にある海外からの観光客の受け入れ環境整備が必要

○ 外国人宿泊者数

	H28	H29	H30
静岡県	1,570,350人	1,501,920人	1,793,750人
沼津市	42,785人	38,132人	42,835人
【沼津市】地域別、人数、割合			
中国	29,102人、68.0%	23,908人、62.7%	26,139人、61.0%
欧米	4,322人、10.1%	4,411人、11.6%	4,447人、10.4%
台湾	1,918人、4.5%	2,286人、6.0%	2,708人、6.3%
韓国	1,442人、3.4%	1,922人、5.0%	2,653人、6.2%
香港	870人、2.0%	924人、2.4%	1,220人、2.8%

(※資料：観光庁宿泊旅行統計調査(年)、市による主要26宿泊施設調査(年度))

考えられる施策や取り組みの方向性

- 中心市街地の公共空間を活用した賑わいの創出
- 地域資源を活用した沼津ならではの観光コンテンツの提供
- スポーツや健康のツーリズムなどの新たな観点での観光の推進
- コンベンションを始めとする広域で連携した観光の提供
- 沼津港の賑わいの中心市街地などへの波及・避難対策の検討
- インバウンドの推進と受け入れ環境整備
- 沼津の魅力や観光情報などの効果的な発信